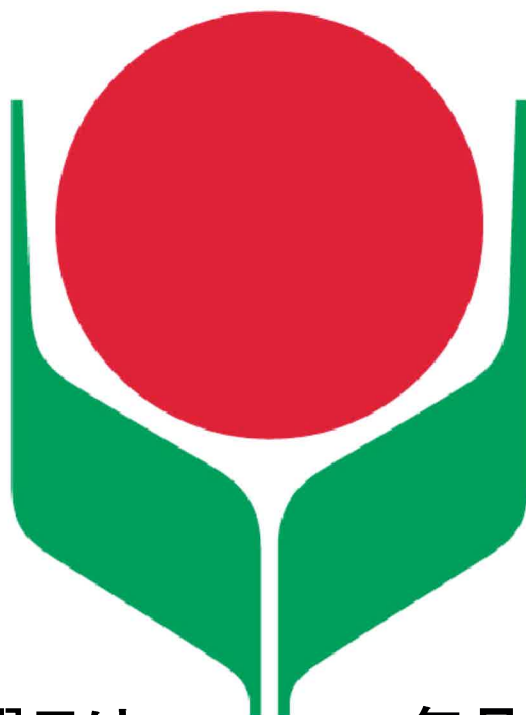


**第18回**

# **かんら家庭の日推進大会**



**毎月第1日曜日は  
家庭の日**

**毎月第1土曜日は  
少年の日**

**令和7年3月2日(日)**

**PM1:30～ (1:00開場)**

**甘楽ふれあいの丘 甘楽町文化会館 大ホール**

**主 催** 甘楽町青少年育成推進員連絡協議会・甘楽町教育委員会  
**後 援** 甘楽町区長会・甘楽町校長会・甘楽町小中学校 PTA 連合会  
甘楽町民生委員児童委員協議会・甘楽町更生保護女性会  
甘楽町子ども会育成会連絡協議会



## かんら家庭の日推進大会

「家庭の日」の運動は、1955年（昭和30年）に鹿児島県生まれ、群馬県でも昭和40年、子どもの日を記念して提唱され、毎月第1日曜日を「家庭の日」と決めました。また、昭和58年度から毎月第1土曜日を「少年の日」と定め、「家庭の日」と連動した青少年の健全育成のための県民運動が推進されています。

家庭は、私たちの生活の基盤であり、家族の心のよりどころでもあります。

また、子どもたちにとっては、生きるルールを覚える最初の学校であり、知らず知らずのうちに、人格が形成されていく場でもあります。

家庭がそのような働きをよりよく発揮するためには、家族みんなの心がふれあう明るい家庭づくりを進めることが大切です。

甘楽町青少年育成推進員連絡協議会では、家庭の大切さ、家庭の役割のすばらしさ、青少年が自身の行動の責任と社会の一員としての自覚を深める日として、町内の小中学校から「家庭の日」「少年の日」の標語や作文などを募集し、表彰 作品展示 を行い「かんら家庭の日推進大会」を開催いたします。

### 〔作品展示〕

甘楽町文化会館 3月2日（日）

ららかんら 3月4日（火）～3月20日（木）

「家庭の日」「少年の日」標語

「家庭の日」 作文

「家庭の日」「少年の日」絵画・ポスター

### ～ 次 第 ～

#### 第 一 部

1. 開 会

2. 主催者あいさつ 甘楽町青少年育成推進員連絡協議会長 住谷 仁

3. 表 彰 標語の部 作文の部

4. 来賓祝辞 甘 楽 町 長 森 平 仁 志 様

甘楽町議会議長 白 石 豊 樹 様

西部教育事務所長 池 田 卓 巳 様

5. 入賞作品発表 標語の部 作文の部

6. 講 評 甘 楽 町 教 育 長 近 藤 秀 夫

7. 閉 会

#### 第 二 部

アトラクション 甘楽中学校吹奏楽部

第18回「かんら家庭の日推進大会」標語・作文コンクール

【家庭の日 標語の部】

|       | 作 品                 | 学校・学年・氏名       |
|-------|---------------------|----------------|
| 最優秀賞  | ただいまと おかえりなさいで 深まる絆 | 福島小学校 6年 須藤 夏凜 |
|       | ありがとう 日ごろの思いを 伝えよう  | 甘楽中学校 1年 越田 星那 |
| 優 秀 賞 | 笑顔さく はずむ会話と おいしいごはん | 小幡小学校 5年 羽鳥 菜花 |
|       | 楽しくお話 家族団らん 大切に     | 福島小学校 5年 下山 望彩 |
|       | 今話そう 今日しかできない 家族の話し | 福島小学校 6年 柳澤 実杜 |
|       | 家族みな いつでもぼくの 応援団    | 新屋小学校 5年 黒澤 優  |
|       | 会話でね 家族と心 つなげよう     | 新屋小学校 6年 市川 凜桜 |
|       | ありがとう 心の気持ち 伝えよう    | 甘楽中学校 1年 鎌田 千里 |
|       | かかわろう 毎日家族と 少しでも    | 甘楽中学校 1年 松本 夏由 |
|       | 家族でも 感謝の言葉 いつまでも    | 甘楽中学校 2年 新井 快登 |
|       | スマホより 見るべき笑顔は 目の前に  | 甘楽中学校 2年 市川 沙弥 |
|       | 「ねえ聞いて」 言葉でつなぐ 家族の心 | 甘楽中学校 2年 齊藤 麻直 |

# 第18回「かんら家庭の日推進大会」標語・作文コンクール

## 【少年の日 標語の部】

|       | 作 品                | 学校・学年・氏名       |
|-------|--------------------|----------------|
| 最優秀賞  | あいさつは すすんでしよう 自分から | 福島小学校 6年 入山 柚乃 |
|       | あいさつで 笑顔あふれる 甘楽町   | 甘楽中学校 2年 桑原 歩翔 |
| 優 秀 賞 | あいさつは 勇気を出した そのあかし | 小幡小学校 5年 茂木 里桜 |
|       | みんなで まもろう  미래の自分   | 福島小学校 4年 黒澤 朱理 |
|       | 繋ごう 築こう 地域の輪       | 新屋小学校 6年 茂木 乃葵 |
|       | その一言 心ぼかぼか ありがとう   | 新屋小学校 6年 小瀬 夏海 |
|       | あいさつは 相手の目をみて 自分から | 新屋小学校 6年 若松 果穂 |
|       | あいさつで つながる広がる 地域の輪 | 甘楽中学校 1年 山口 啓太 |
|       | あいさつは 自分を変える 第一歩   | 甘楽中学校 1年 田中 伶樹 |
|       | ありがとう 笑顔あふれる 第一歩   | 甘楽中学校 2年 長岡 風菜 |
|       | スマホより 貴重な時間 大切に    | 甘楽中学校 2年 鈴木 美和 |
|       | ありがとう 心をつなぐ 合言葉    | 甘楽中学校 2年 太附 結心 |

## 第18回「かんら家庭の日推進大会」標語・作文コンクール

---

### 【家庭の日 作文の部】

|       | 作 品        | 学校・学年・氏名        |
|-------|------------|-----------------|
| 最優秀賞  | ぼくの家族      | 福島小学校 6年 柳澤 楓   |
|       | 食卓で広げる家族の輪 | 甘楽中学校 1年 山口 啓太  |
| 優 秀 賞 | お父さんのりょう理  | 福島小学校 4年 岩澤 万葉  |
|       | やさしい家族     | 福島小学校 5年 勅使河原 奏 |
|       | 家族のいい所     | 福島小学校 6年 下山 望彩  |
|       | 家族の大切さ     | 甘楽中学校 1年 富岡 穂希  |
|       | 家族の大切さ     | 甘楽中学校 1年 石黒 萌愛  |
|       | 大好きな家族     | 甘楽中学校 1年 森田 なの  |

## 《最優秀賞》

### ぼくの家族

甘楽町立福島小学校 6年 柳澤 楓

ぼくの家族は、お母さんとぼくの二人です。お父さんはいませんが、お母さんがいつもぼくのことを支えてくれているので、毎日楽しく過ごしています。ぼくが学校から帰ってくると笑顔で「おかえり」と言ってくれて、ほっとします。

お母さんは、家でパソコン使ってデザインの仕事をしています。デザインってすごくかっこよくて、ぼくもいつかお母さんみたいにパソコンでいろいろな絵やデザインを作ってみたいと思っています。

お母さんは仕事だけじゃなくて、ぼくの学校でイラストクラブの先生もしています。ぼくもそのクラブに入っていて、お母さんといっしょに絵をかいたり、いろんなアイデアを考えたりするのが大好きです。クラブでは、たくさんの友達といっしょに楽しくイラストをかけるし、お母さんが面白く教えてくれるので、すごくやりがいを感じます。

お母さんは、家事もすごくがんばっています。ごはんを作ってくれたり、そうじや洗たくもしてくれたり、いつもいそがしそうです。ぼくも家事を手伝うけど、お母さんは「ありがとう」って言ってくれるので、もっとお手伝いしたいなと思っています。

ぼくたちの家族は二人だけだけど、お母さんと過ごす時間は本当ににぎやかです。たとえば、いっしょにゲームをしたり、映画を見たりします。最近では、ぼくがお母さんに教えてもらいながらいっしょにカレーを作ったりしていて、とても楽しいです。お母さんといっしょにゲームをしたり、映画を見ながらいっしょに笑ったり、おどろいたりするしゅんかんもすごく好きです。

これからもお母さんといっしょに楽しい思い出を作りたいし出来ることをふやして少しでもお母さんを助けられるようになりたいです。



# 《最優秀賞》

## 食卓で広げる家族の輪

甘楽町立甘楽中学校 1年 山口 啓太

「いただきます」

食卓を家族で取り囲む時間がやってきた。家族がつながる時。温かい気持ちに包まれる時。この時間がつくる家庭の幸せは、ぼくに頬笑みと落ち着くひとときを与えてくれる。

中学生になり、生活が一変した。テストや勉強のこともあり、落ち着くひまさえない。部活をして、帰るとクタクタの日々。忙しさの渦に呑み込まれ、気がつくともう二学期に。当然、ストレスが多い日も、ある。心が疲れきって、何もしたくない時だってある。そんな時、ぼくに救いの手を差し延べてくれたのが、毎日の食卓であった。

食卓は、家族がつながるための時間にもなる。今日したこと。驚いたこと。楽しかったこと。大変だったこと。喜怒哀楽全ての、自分の思いを伝えられる。家族みんなで、おしゃべりをすると、自然と笑みがこぼれてくるのだ。忙しい日々で、なかなか話せる時間がなくても、食卓を囲むことで、家族と思いを伝え合い、考えて、また、伝え合う。どんなことも話せる。これこそが、家族のつながりなのではないのだろうか。

そして、食卓でなら、

「ありがとう」

が、言える。

「このご飯おいしいよ。いつもありがとう。」や、

「仕事をがんばってくれてありがとう。」

など。いつもは言えなくても、食卓でなら、感謝の気持ちが言える。僕は、「感謝の気持ち」が言い合える家族でありたいと思っている。

このように、食卓は家族の輪を広げてくれる。笑顔を創り出す。普段はできなくても、今日は、家族みんなで食卓を取り囲み、幸せな家庭を作ってみては、どうだろうか。



## 《優秀賞》

### お父さんのりょう理

甘楽町立福島小学校 4年 岩澤 万葉

わたしのお父さんは、りょう理がとても上手です。わたしがお父さんに「なんでりょう理が上手なの？」と聞いたら、お父さんは、「みんなのえがおが見れるようにべんきょうしているからだよ。」と言って、わたしは何だかうれしくなりました。

お父さんは、よく海外にしゅっちょうに行ってお父さんのりょう理は、食べれないけど、帰ってきたら、食べたいものを作ったりしてくれて、たまに作るのがめんどくさい時は家族みんなをつれて、スパゲティ屋さんに行ったりしています。でもわたしは、家族でリビングに集まってごはんを食べるのが好きなので、ごはんを食べに行った時は少しいやです。

パパは、祝いごとがあったときは、ステーキを買ってきてやいてくれます。パパがやいたステーキはやわらかくておいしいです。おいしすぎて、大きいステーキも家族で食べればすぐに食べちゃうので、いっぱい食べた人は、おなかをこわさないか心配しています。

わたしたちは、よくキャンプに行きます。その時も、お父さんはドリアを作ったり、アフパツアを作ったりしてくれます。

わたしもお父さんを見ならってりょう理が上手になるように、お父さんやお母さんに教わりたいと思います。

わたしは、オムライスが好きなので、オムライスを作れるようにちょうせんしたいと思います。

## 《優秀賞》

### やさしい家族

甘楽町立福島小学校 5年 勅使河原 奏

私の家族は、いつもにこにこしていてやさしいです。お父さんは、建築関係の仕事をしていて毎日つかれているのににこにこしていて私は、すごいなと思っています。そんなお父さんは、あまりおこらないのでたまにおこられるとすごくこわく感じます。

お母さんは、いつも笑顔で家のそうじや料理をしてくれたりしています。私は、いつも自分の事だけやってお手つだいが出来ていないのでいつも感謝しています。

私には、二人お兄ちゃんがいて一番上のお兄ちゃんは、大学生でりょうにるので夏休みや冬休みに帰って来ます。二番目のお兄ちゃんは、いつもやさしくてゲームをたまにいっしょにやります。家の兄弟は、ケンカをまったくしないのでゆずったりして仲良しです。

おばあちゃんは、毎日せんたくをしたりはたけに行って野菜を育てたりしています。いつも私が良い事をしたらほめてくれたりしてくれてうれしいです。私は、こんな家族といっしょに明るくすごしています。いつも習い事のおむかえや学校の用意などをしてくれていつもとてもありがたく感じています。

これからもずっといっぱいめいわくかけると思うけどやさしい家族に助けてあげたり助けてもらったりしてささえ合おうと思います。

ずっとしてもらえる事ではないので自分で少しずつ出来る事はやろうと思います。

## 《優秀賞》

### 家族のいい所

甘楽町立福島小学校 6年 下山 望彩

私は5人家族でお母さん、お父さん、兄2人と私でくらしています。

家族は私にとって、とても大切な存在です。私が習い事のこと、精神的にやられているときに家族みんなで私のことを支えてくれていたの、家族がいてくれてよかったなど心から感謝しています。

辛かったときには家族は私のことを支えてくれます。私がなにかで成功したり、がんばったりすると、笑顔でほめてくれます。例えば、習いごとの習字で段が上がったり、持久走大会で上位に入れたり、いろいろな教科のテストで満点を取ったときです。

そういうときに、家族は笑顔でとてもほめてくれるので、私も笑顔になるし、すごく嬉しくなります。

運動会でも、ダンスの表現や、遊競技などでがんばったときには家族でご飯を食べに行ったり、欲しかった物を買ってもらったりと、時にはごほうびもくれました。

私のお母さんのお仕事はお花屋さんです。お花屋さんは、亡くなってしまった人のためにお花を作るのがお仕事の一つです。

お母さんは、お花が大好きなので、家にはお花がたくさんあります。

お花を見るお母さんの目はとても幸せそうです。その幸せそうな顔を見ると、私も幸せになります。

私は人の幸せな顔を見るのが、とても好きなので、人を幸せにできるお仕事に私はつきたいです。

私は春から中学生になるので、中学生の役割を果たし、家族を幸せにさせてあげたいと思います。

## 《優秀賞》

# 家族の大切さ

甘楽町立甘楽中学校 1年 富岡 穂希

私は「家族の大切さ」について考えました。私が家族と話すときはお父さんが帰ってきて全員がテレビを見ているときです。でも最近はスマホやタブレットを見ていてあまり話していない気がします。

家族が不仲だということもありますが会話が足りていないと思いました。

昨日もスマホを見ていて妹に話しかけられたとき、少し雑に接してしまいました。

そこで私は、家族の大切さを考えてみました。例えば、お父さんがいなくなればお金をかせぐ人がいなくなるので生活ができなくなってしまう。

お母さんがいなくなると、そうじや洗たく、料理をする人がいなくなるので汚く規そく悪い生活することになってしまいます。

そう考えると家族はとても大切な存在だと思います。

辛いことや悲しいことがあっても、相談に乗ってくれたり、悩みを聞いてくれたりしてくれたり、家族はとても温かい存在です。

なので家族のためにお手伝いをしたりかたをもんであげたりしてありがとうを伝えたいです。

スマホやタブレットの時間を少し減らして家族とふれ合う時間ももう少し増やしたいです。それだけで家族の仲も深まるし、家族の大切さが実感できるかもしれません。

私は、今よりもっと家族を大切にしていきたいと思います。

## 《優秀賞》

# 家族の大切さ

甘楽町立甘楽中学校 1年 石黒 萌愛

みなさんにとって家族とはどんな存在ですか。人によって違うと思います。私にとって家族とはとても大切な存在です。理由はたくさんありますが、その中でも大きな理由は三つあります。

一つ目はコミュニケーションを学べるからです。友達と話しているときは、気遣ってしまったり、遠慮してしまい、中心になって話す機会があまりなかったです。しかし家族とは遠慮しないで大変だったことや嬉しかった話を共有することで「自己肯定感」が上がりしっかり友達と楽しかったことや面白かったことなどしっかり共有出来る様になりました。

二つ目の理由是一緒にいと安心するからです。幼いころに地震が起きたときに私が何をすればいいのか分からなくて、戸惑っていたときにすぐに何をすればいいのか指示してくれて地震が収まるまで「大丈夫だよ」と声をかけてくれました。それまでとても怖かったのに声をかけてくれたおかげでとても安心することができました。

三つ目は幼いころに両親が離婚してしまったため、家族の大切さが分かっているのだと思います。私がとても幼い頃に離婚してしまったので正直父親との思い出はあんまりありません。

なので友達がお父さんの話をしていると「羨ましいな」と感じることもあります。しかし今まで仕事をしながら一人で育てたお母さんがとてもありがたいし、大切な存在だと感じています。

私は家族がとても大切だし、大好きです。なのでそんな家族を傷つけないように日々感謝の気持ちを伝えたり、お手伝いするように心がけて家族に役立つことをできるように頑張っていきたいです。



## 《優秀賞》

# 大好きな家族

甘楽町立甘楽中学校 1年 森田 なの

私は、今いるこの家庭、家族がとても好きです。

そのわけはいろいろあります。

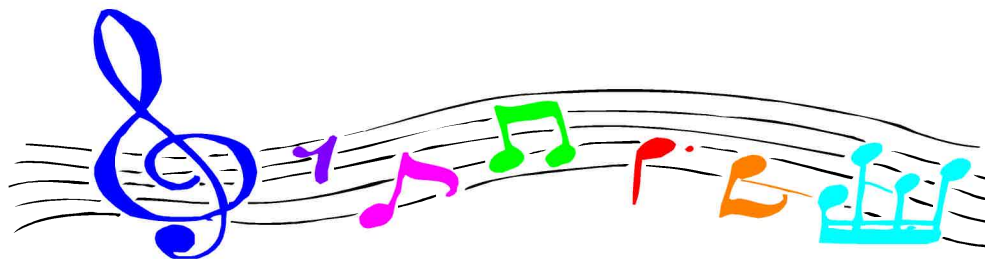
一つ目は、夕食を食べる時です。中学生になって小学生の頃よりも家に帰る時間が一時間半以上も遅くなりました。自転車をこいで家に帰ってくるとほとんど毎日お父さんとお母さん、妹が夕ご飯を食べるのを待っていてくれます。そして、そこで学校での良い出来事や楽しかった出来事などを話します。みんなもいろいろな面白い話をしてくれます。私はみんなで楽しくお話できるこの時間がとても好きです。

二つ目は、宿題をしている時です。宿題をする時間ももちろん夕ご飯を食べたり、寝る支度などをするため遅くなってしまいます。けれど、いつもお父さんかお母さんが一緒にリビングにいて待っていてくれます。私はこれがとても嬉しいです。「どうしていつも待っていてくれるの？」と聞くと、「一人では寂しいでしょ？中学校に行ってから一緒にいられる時間が減った分ね。」とニコニコしながら言ってくれました。私はこの言葉を聞いてなんだか自分はとても大切にしてもらっているんだなぁと改めて感じられ、とても嬉しかったです。

三つ目は、友達との間でのことです。小学校四年生の頃、私は一年生の終わり頃から仲良くなった女の子を怒らせてしまいました。その日から、その女の子と会うととても気まぐずになってしまいました。私はどういう風に謝ったら良いのかを家族に相談しました。家族のみんなは真剣にいろいろな方法を出してくれました。そのおかげで仲直りをすることができました。この時、やっぱり相談の出来る相手がいて、そのことについて真剣になって考えてくれる人がいるというのはとても幸せなことだと思いました。

改めて私は、今いるこの家庭、家族が大好きです。

# アトラクション



 甘楽中学校 吹奏楽部

「栄光をたたえて」 ほか







かんちゃん

甘楽町キャラクター「かんちゃん」